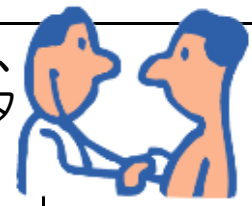
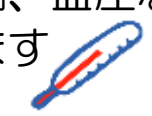
乳房再建を伴う乳腺科手術を受けられる患者さんへ

この手術は乳がんと診断を受けた方に対して、乳房切除と胸の皮膚を伸ばすティッシュエキスパンダーの挿入を行う手術になります。当院では２日前に入院して頂き、入院期間は 17 日前後となります。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿さん

日付	／	／	／		／	／	／ ～ ／	／ ～ ／
日程	入院日	手術前日	手術前	手術後	１日目	２日目	３～６日目	７日目～退院
達成目標	・入院生活、手術の内容について理解できる ・手術に向けて準備できる ・手術に向けて気持ちが整理できる			・創痛、苦痛が最小限である ・術後出血、感染症などの合併症がない ・体動制限を理解し、医療者へ助けを得ながら活動できる			・創部の状況に応じた日常生活行動をとることができる	・退院後の生活、注意点について理解できる
治療処置	・ﾈｰﾑﾊﾞﾝﾄﾞを手術側の腕につけます ・下肢静脈瘤のある方はお知らせください ・胸帯、ブレストバンド、スポーツブラの購入・準備について説明します	・浴衣または病衣、下着または紙ショーツ、胸帯、ビニール袋２枚をお預かりします ・医師の指示がある場合は弾性ストッキングのサイズ合わせを行います ・手術する側の脇の除毛(希望時)	・手術室に行く前に、術衣に着替え、医師の指示がある場合は弾性ストッキングのサイズ合わせを行います ・手術室へは歩いて看護師と一緒に行きます 	・点滴、酸素マスク、両足に血栓予防のマッサージ器、心電図モニターがつきます  ・創部付近からドレーンが入ります ・創部は腹帯、包帯で圧迫します ・手術した側の腕も包帯で動きが制限されます	・医師が診察後点滴、尿管や心電図モニターを外します 		ドレーンの排液が少なくなってきたら抜去します（個人差があります）	・術後 14 日目頃、抜糸し抑制が解除になります ・経過をみてサージカルテープの説明、スポーツブラやブレストバンドの使用を開始します
薬剤	持参薬を確認します	21 時頃に入眠剤をお持ちします	麻酔科医より内服薬の指示が出ます	抗菌剤の点滴を行います	抗菌剤の内服を開始します(6 日間) 痛み止め、胃薬の処方もあります			
検査	採血、乳腺エコー	（　　　時)RI センチネル注射						
リハビリ	特にありません			手術した側の肘から上はなるべく動かさないようにしてください (肘から指先にかけては積極的に動かして下さい)				術後 14 日目頃、手術をした側の腕を徐々に動かしはじめます
活動	病院内でお過ごし下さい 病棟外に出られるときは看護師に声をかけてください 		病棟内でお過ごしください	・ベッド上安静、体位の調整をお手伝いします ・手術した側の腕は体動制限があります	・初回歩行は看護師が付き添います	病棟内でお過ごし下さい	病院内でお過ごし下さい	
食事	常食をお出しします、治療食になることもあります アレルギーがある方は看護師にお知らせください		０時以降絶食です 麻酔科医より飲水制限の時間がでます	・絶食です ・手術後３時間たち、問題がなければ飲水ができます	・朝から食事が再開します ・食事、飲水の制限はありません。			
清潔	・入浴出来ます ・手術前日は(　　　時　　　分)までに入浴を済ませてください			うがいや飲水の介助を行います	体拭き後パジャマへ着替えます 	体拭きを行います。 術後４日目頃より、医師の指示で下半身シャワー浴や仰向けで洗髪ができるようになります		 ・術後 7 日目頃より医師の指示で前かがみでの洗髪ができます ・退院までには全身シャワー浴が可能になります
排泄				尿の管が入ります 	尿の管は抜きます			
説明	・看護師、医師より入院生活や手術に関する説明をします ・ゴム製品、金属、薬、食物等でアレルギーがある方、テープ負けしやすい方、コンタクトレンズを使用している方はお知らせください	・手術部位の位置確認があります(形成医師) ・麻酔科医、手術室看護師による術前訪問があります ・金属類、湿布、エレキバン、マニキュアは除去してください	・化粧、湿布はせず、金属類、コンタクトレンズははずして下さい（必要な方は、眼鏡を準備してください） ・必要時入れ歯を外してください (麻酔科医から指示がある時)	・体温、脈拍、血圧などの観察を適宜行います  ・痛みや吐き気などある時にはお薬を使い症状の緩和に努めます 	・ドレーンの管理方法や手術した側の体動制限についてご説明します	・土曜日、看護師より退院指導、地域連携の説明を行います ・サージカルテープのご案内をします ・退院前日、入院費の概算をお知らせします ・今後の治療方針については、外来で医師から説明があります 		

※ご不明な点などございましたら、遠慮なくお尋ねください。　　九州がんセンター　2017 年２月改定